「平和と人権」市民ネットワーク情報　N09

事務局発行(℡ 0557-45-1182)　http://peaceito.moo.jp　　2016.10/21

沖縄基金で買いました

8 月 6 日の「標的の村」上映会の折に、来場者からたくさんのカンパを頂きました。その金額は 6 万 9 千円に上ります。このお金を元手に、「沖縄基金」を作りました。沖縄に関するイベントの補助や基地建設反対運動の支援に充てるためです。6 月 26 日の「沖レポ報告会」での農産物販売収入からカンパもいただき、合計 7 万 8 千円を元金に発足しました。

今、「標的の村」にされた東村高江では、ヘリパッド基地の建設が急ピッチで進められています。全国から機動隊員を集め抵抗する人たちを暴力的に排除して、建設資材を満載した車両を搬入しています。沖縄県統一連では、高江の姿を **10 枚の写真パネル**にして全国の人に「今、高江で起きていること」を広報しています。市民ネットでは、沖縄基金から 5 千円を支出してこのパネルを購入しました。右はそのうちの 1 枚です。

映画「高江―森が泣いている」(DVD)を購入しました。代金は上映権付で 1 万円でした。東部訓練所ケート前で座り込みを続ける住民を、機動隊員が強制的に排除する場面をカメラに収めています。胸を突かれる映像です。62 分の長編。

もう一本 DVD を購入しました(代金 500 円)。今年 3 月に**不破哲三氏が那覇市で行った講演**を収録したものです。70 分を超える講演ですが、飽きさせません。沖縄基地が他国への出撃基地であること、いつでも核兵器を搬入できる施設を備えていること。地位協定が他に例をみない差別的なものであること、等を米国側の資料も引いて実証的に、かつ説得力を持って語っています。

以上、三点の備品は希望者に**いつでもお貸し**します。事務局の三好まで電話(0557-45-1182)で連絡をください。備品は伊東市役所 8F の「市職労連」で保管しています。

デュオ・伊東店で高江の「写真パネル展」を企画

紹介した 10 枚の写真パネルに新聞資料なども加えて、デュオ・伊東店の「センターサークル」で展示会を企画しています。期日は **12 月上旬の三日間**。「センターサークル」が借りられない場合は、2 階のデュオホールで映画「高江―森が泣いている」の上映会を予定しています。11 月の「市ネットワーク情報」で詳細をお知らせします。

基金から第二次沖縄派遣を援助します

●団長が決定。方針も定まる

「伊豆・伊東の青壮年を再び沖縄へ派遣しませんか」9 月 30 日の関係者会議でこう投げかけると、「よし、僕が団長になりましょう」とＡさん（教員）が声を挙げました。それを受け第二回目の目標は次のように決まりました。

> これからの伊東・伊豆を担う青壮年を、緊迫の度を強める東村・高江地区等の現場に再派遣し、現地の青壮年と交流してその運動を支援する。学んだことは自分たちの地域の実践に活かす。

①伊東だけでなく広く田方地域にも呼びかけて参加者を募ります（４０歳まで）。４人以上を派遣したいです。心当たりの方がいれば 11 月までにお知らせください。
②募金はすでに 7 万 3 千円以上集まっています。でも、さらに追加カンパを募り計１０万円を支給したいと思っています。お気持ちのある方はお知らせください。

●伊豆に広がる青壮年の取り組み

第一回目の派遣者でつくる「基地に入り隊」のメンバーは、市民ネットと協力して報告会や『標的の村』上映会を開いてきました。すると今度は、そこに参加した田方・伊豆の青壮年の有志が韮山時代劇場で同じく『標的の村』上映会を開くことを決めたのです。（12 月 17 日〈土〉の 2 時と 7 時に開演）

伊豆の青壮年・沖縄第二次派遣の取り組みは、こうした運動と響きあって高江・辺野古支援と共同の輪をさらに広げていくことでしょう。（加藤好一）

秋はイベントが満載

〔10 月 27 日、インターネットメディア視聴会〕

臨時国会も始まり、改憲についての話も出てきましたので、今月は自民党改憲草案について以下の番組を視聴する予定です。インタビューが行われたのは今年の初めですが、さすがに憲法学の権威！樋口先生の語り口は、簡潔で分かり易く、重要な点をまず押さえて話し始めるあたり、感心することしきりでした。みなさんと一緒に先生の解説を聞いてみたいと思います。
なおこのインタビュー動画は通常は IWJ 会員のみが見られる有料動画ですが、公共性に鑑み、以下の URL にアクセスすれば、現在のところ、特別公開中で自由に見ることができますので、この日の視聴会に参加できない方もできるだけ見ていただけたらと思います。

◆日時　2016 年 10 月 27 日（木）午前 9 時半～12 時（開場 9 時）
◆場所　八幡野コミュニティセンター　３階会議室（会場費 500 円は割り勘で）
（伊東市八幡野 1189-172　Tel. 0557-53-1177）
（連絡先　大久保伸子　goron.key@gmail.com）

◆視聴番組

★ ★ IWJ 動画（http://iwj.co.jp/wj/open/archives/287549）

憲法学の神様が IWJ に君臨！樋口陽一東京大学名誉教授が岩上安身のインタビューで自民党改憲草案の狙いを丸裸に！　2016.2.17

◆〔11 月 11 日、伊藤真さん憲法講演会〕◆

◎主催

伊藤真さん講演会実行委員会

◎共催

・戦争させない!静岡東部の会

・Tea+α

・三島市の子どもの給食と健康を考える会

◎連絡先

浅羽　（℡090-1832-8878）

11 月 23 日、希望の牧場・講演会ー詳しくは別紙(or 添付ファイル)参照

◎日　時…11 月 23 日(水、祭日) 13:00 開場、14:00 開演

◎会　場…伊東市観光会館第一会議室

◎講演者…吉澤正巳さん(浪江町、希望の牧場代表理事)

◎演　題…「被ばく牛 300 頭とともに原発時代を乗り越える」

◎参加費…500 円(高校生以下は無料)

◎連絡先…杉本(090-1984-0857)、重岡(090-3153-1711)

11 月 27 日、木村草太さん、憲法講演会ー詳しくは別紙(or 添付ファイル)参照

◆日時…11 月 27 日(日) 10:00~12:00

◆会場…伊豆の国市韮山文化センター(韮山時代劇場)

◆呼びかけ…「無関心ではいられるけれど、無関係ではいられない」つながり、かかわり、自分らしく生きるために優しくて深い憲法の底力を学びなおそう。

◆参加費…無料

◆主催…静岡県教育の集い実行委員会、静岡県教職員互助組合

◆問い合わせ…静岡県教育の集い実行委員会事務局　富田(℡　054-054-3391

10 月 19 日の統一行動

秋晴れの下、観光会館前で 14 時から 30 分間、スタンディング、ショートスピーチ、コールを行いました。参加者は 13～14 人。スピーチでは多くの方が、新潟県知事選で米山さんが勝利したことに触れていました。原発問題が選挙戦の争点となること、再稼働反対の県民の意志が示されたこと、そして野党と市民の共闘が勝利をおさめたことを、喜びを持って語っていました。なかには、自分は米山さんの隣町の出身だと自慢げに（？）語る人もいました。伊藤廣光さんが司会にマイクの受け渡しにと、八面六臂の活躍でした。伊藤さんの労を多としながら、一人に任せるのではなく共同してこのイベントを作っていくことが必要ではないか、と思いました。　　(文責　三好康昭)

コラム　TBS「報道の魂」を見て

三好康昭

米軍統治下の沖縄にあって、「瀬長亀次郎」は屈することなく闘い続けました。瀬長の闘いから私たちは何を学び、何を受け継ぐことが出来るでしょうか。私たちは瀬長のような英雄的な闘いはできません。しかし、私たちにもできる闘いがあります。それは時間の経過に屈しない闘いです。フクシマから 5 年が経ち、安保法が成立して今日で一年になります。時間の経過が記憶を風化させ、私たちは次第に当時の「怒り」を忘れがちになります。今、私たちに求められるのは、既成事実に屈しない、大勢に流されない闘いではないでしょうか。そのためには何が必要でしょうか。それは「持続する怒り」ではないか、と思います。一時の燃え上がるような怒りの感情ではなく、静かな、しかし持続する怒りです。持続する怒りを行動面で現わせば、無理をせず、一人でもできるささやかな行為を続けることです。これを、私は「日常生活+α」の闘い、と名付けます。αとは、例えば署名であったり、カンパであったり、新聞への投書であったり、支持者への激励の手紙を書くことであったり、等々です。瀬長のような闘いはできなくても、私たちにもできるささやかな闘いがあります。瀬長の意志を受け継ぐというのはそういうことではないか、と思っています。

(※　9 月 19 日のスタンディングの後、観光会館会議室で「報道の魂」を視聴しました。上記の文章は視聴後の意見交換の席で述べたことを文字にしたものです。三好)

事務局からのお知らせ

10 月 20 日現在で、「市民ネットワーク」の賛同者は 102 人に達しました。発足後一年にもならないのに三ケタの大台に乗りました。また、たくさんの方から現金や切手のカンパをいただき、現在 5 万 4 千円余りの現金が手元にあります。ありがたいことですが、責任の重さも感じています。とはいえ、素人のやることです。大したことはできません。発足にあたってモットーとしたのは、「無理をせず、力まず、誹らない」の三ない原則です。今後もこの原則に則って活動を進めてまいります。よろしくお願いします。